スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山口県長門市

自 治 体 名 ： 山口県長門市
担 当 課 名 ： スポーツ文化交流課　地域クラブ運営企画室
電 話 番 号 ： 0837-22-3526

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

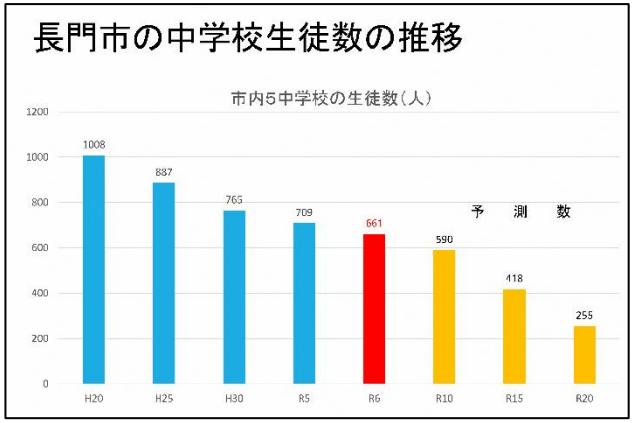
面積	357.9k㎡
人口	29,910人
公立中学校数	5校
公立中学校生徒数	637人
部活動数 （運動部活動のみ）	28部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

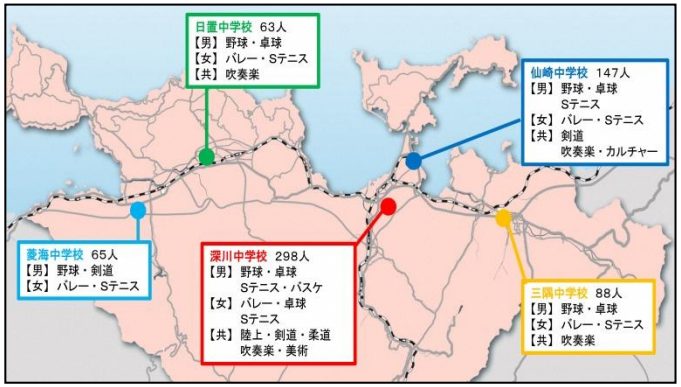
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、本市の中学校数は5校、生徒数は637名だが、急速に少子化が進行しており、令和20年には250人程度となる見込みである。市中心部に位置する深川中学校は、各学年3クラス編成、生徒数300名程度の中規模校だが、周辺4校（仙崎、三隅、日置、菱海）は各学年1～2クラス編成、生徒数60～140名程度の小規模校であり、設置されている部活動の種目選択肢に大きく格差が生じ、従来から格差解消の要望が多く寄せられていた。さらに近年は、学校の規模に関わらず、軟式野球やバレーボールの団体競技は、部員数が不足し、合同チームの編成を強いられる状況が続いている。また、部活動の指導が教員の時間外在校時間超過の一因となっており、負担軽減を図る必要がある。

以上のことから、各学校単位での部活動存続が困難な状況を改善すべく、部活動改革を進めたいが、過疎地域の小規模自治体である本市には受け皿となる団体や人材が乏しく、学校間の移動も徒歩や自転車では困難である。

そこで本市は、この部活動改革の取組として、学校間をバス移動することにより、市内共通の種目選択肢を確保し、休日・平日ともにスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる市営地域クラブ「NAGATOスポーツ・カルチャークラブ」（通称Nクラ）を令和7年8月に設立し移行を目指すこととした。



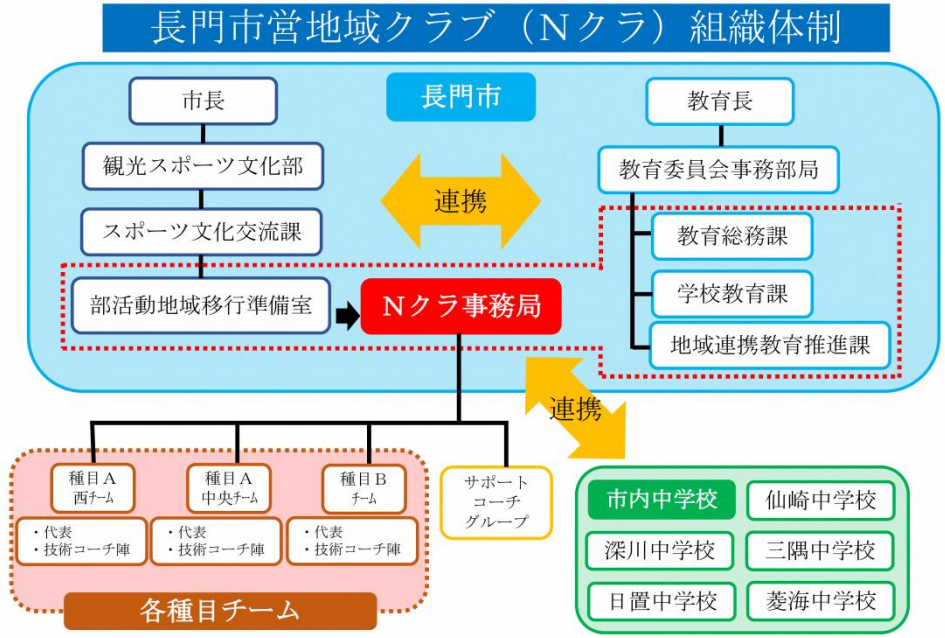


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・市内中学校との連絡調整
・学校施設開放、スクールバス活用等の検討
・その他、学校や教職員に関する諸課題の検討

◉首長部局

・部活動改革推進協議会の運営
・各関係者との連絡調整
・その他、市営地域クラブ（Nクラ）の設立等、移行に向けた諸課題の検討

年間の事業スケジュール

令和7年4月	市長部局に地域クラブ運営企画室を設置（旧：部活動地域移行準備室） 市内の全教職員向け説明会
令和7年5月	第12回部活動改革推進協議会
令和7年6月	第13回部活動改革推進協議会
令和7年7月	Nクラ全体リハーサル
令和7年8月	第14回部活動改革推進協議会 Nクラ活動開始（吹奏楽以外） 部活動産官学フォーラム出席
令和7年10月	第15回部活動改革推進協議会
令和7年12月	Nクラ（吹奏楽）活動開始
令和8年1月	重点地域シンポジウム出席
令和8年2月	第16回部活動改革推進協議会 市内中学生アンケート 保護者アンケート
※随時	種目別関係者協議 Nクラ指導者研修 小学6年対象Nクラ体験会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5校	実施した地域クラブ総数	8クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		8クラブ（28部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	117人	全体の運営スタッフ数	3人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
長門市野球クラブ	長門市	軟式野球	週3回（火・水・土）	平日：16:15～17:45 休日：9:00～11:30	中1：7人 中2：17人 中3：0人	令和7年8月～	深川中学校	25人	3人（他クラブと兼務）	月額1,000円/人 ※就学援助受給世帯は半額減免	中体連
長門JVC		バレー女子	週3回（火・水・土）	平日：16:15～17:45 休日：9:00～11:30	中1：21人 中2：34人 中3：0人	令和7年8月～	深川中学校	5人		月額1,000円/人 ※就学援助受給世帯は半額減免	
長門Breakers		バスケ男子	週3回（火・水・土）	平日：16:15～17:45 休日：9:00～11:30	中1：14人 中2：13人 中3：2人	令和7年8月～	深川中学校	16人		月額1,000円/人 ※就学援助受給世帯は半額減免	
Nagato Racing Club（長門RC）		陸上競技	週3回（火・水・土）	平日：16:15～17:45 休日：9:00～11:30	中1：7人 中2：8人 中3：7人	令和7年8月～	深川中学校	14人		月額1,000円/人 ※就学援助受給世帯は半額減免	

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
長門Laugh＆Rally	長門市	ソフトテニス	週3回（火・水・土）	平日：16:15～17:45 休日：9:00～11:30	中1：21人 中2：34人 中3：0人	令和7年8月～	深川・仙崎中学校	12人	3人（他クラブと兼務）	月額1,000円/人 ※就学援助受給世帯は半額減免	中体連
NAGATO卓球クラブ		卓球	週3回（火・水・土）	平日：16:15～17:45 休日：9:00～11:30	中1：31人 中2：18人 中3：4人	令和7年8月～	深川・仙崎・三隅・日置・菱海中学校	23人		月額1,000円/人 ※就学援助受給世帯は半額減免	
長門柔道		柔道	週3回（火・水・土）	平日：16:15～17:45 休日：9:00～11:30	中1：4人 中2：4人 中3：1人	令和7年8月～	深川中学校	7人		月額1,000円/人 ※就学援助受給世帯は半額減免	
長門剣道少年部		剣道	週1回（土）	9:00～11:30	中1：4人 中2：5人 中3：0人	令和7年8月～	長門市武道館	15人		月額1,000円/人 ※就学援助受給世帯は半額減免	

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●小学6年生対象の体験会　随時

2.実証内容と成果

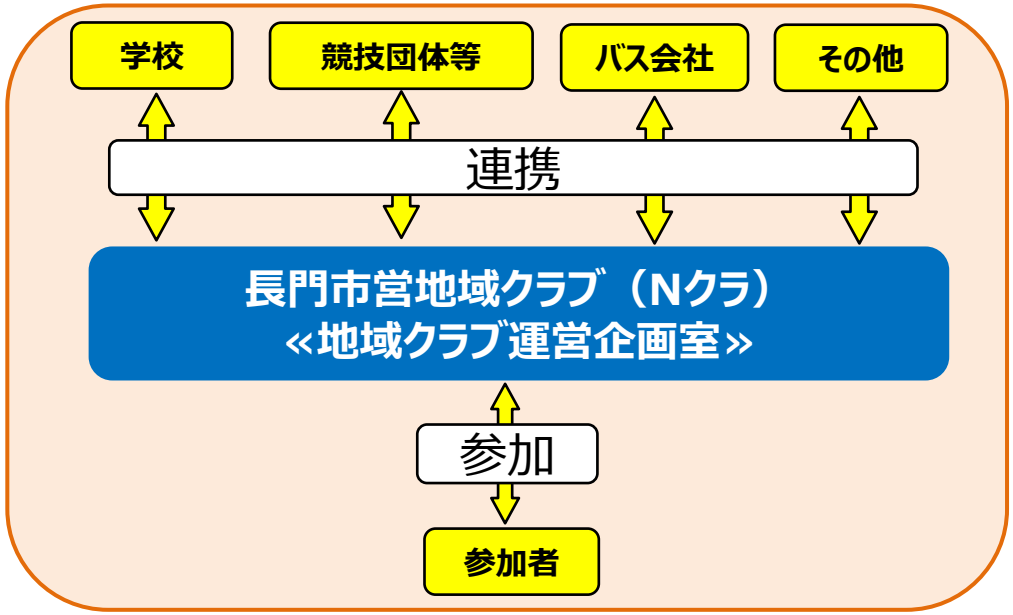
スポーツ庁

主な取組例

●長門市営地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球・バレーボール・バスケットボール・陸上競技・ソフトテニス・卓球・剣道・柔道
運営団体名	長門市
期間と日数	8月19日～ 週3回（火・木・土） ※剣道に関しては週1回土曜のみ
指導者の主な属性	各競技団体等から推薦を受けた公務員（兼職兼業）、一般競技者等
活動場所	学校施設、その他公共施設
主な移動手段	徒歩、自転車、バス
1人あたりの参加会費等（年額）	月額1,000円（年額12,000円） ※就学援助受給世帯は半額減免
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,200～1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●代表
　役割：クラブ活動における統括
●コーチ
　役割：競技に対する専門知識を有し指導を行う
●サポートコーチ
　役割：活動の安全管理や技術コーチのサポートを行う
●企画室（事務局）
　役割：各関係者との調整、事務処理全般

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・部活動改革推進協議会を開催し、学校、スポーツ協会、保護者等との連絡調整を行う。
・コーディネーターを配置し、各関係団体等とのスムーズな連携を図る。
・市内の各種目関係者や学校部活動の顧問教諭等と随時協議を行うとともに、参加する生徒と指導者が安全安心に活動できるようなルール作り等、持続可能なクラブ運営を図る。
・地域クラブ活動を一部試行的に実施する。
・連絡手段として長門市LINE公式アカウントを活用する。

取組の成果

・各関係者と効果的な連携を図ることができ、円滑な事業運営を図ることができた。
・地域クラブ運営における要綱、規約等を整備。
・アンケート等を参考に入部見込者数を把握し、チーム数を見直す等、より具体的な体制を整備することができた。
・当初予定していた種目数以上の地域クラブ活動の一部試行、全体リハーサルを実施できた。
・長門市公式LINEアカウントを活用した参加申込みや関係者との連絡体制により保護者や事務の負担軽減を図ることができた。

今後の取組における課題

・現体制をもとに、子どもたちにアンケート等を実施し、その結果を踏まえながら、クラブ運営に必要な取組を実施していく。
・不測の事態に備え、各関係者と引き続き密な連携を図り、柔軟な対応ができる体制を構築する。
・地域クラブの活動目的、活動方針の周知強化及び参加者には理解のうえ参加していただく。

課題への対応方針

・コロナ、インフルエンザ等流行した際のクラブの中止基準等を設ける。
・参加者、参加希望者に対して地域クラブの活動目的、活動方針を市HP及び市公式LINE等により周知を行う。

★活動目的と方針★

生徒の自発的な参加のもと、「体力・感性の向上」「自己表現」「責任感と協調性」を育み、生涯にわたってスポーツや文化芸術活動の楽しさを感じるとともに、それぞれの目標に向かって自主的かつ真摯に取り組むことができる人材を育てる。

①生徒の心身の健康と成長に配慮し、安全・安心な活動を図る。

②団体や個人の大会等での勝利や技術向上のみを目的とせず、仲間と協力し友情を深め、様々な人と交流する中で好ましい人間関係や社会性の形成に資する活動を目指す。

③生徒の発達や能力の段階に合わせた合理的かつ効率的・効果的な活動を図る。

※Nクラ参加者ガイドより抜粋

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

・参加費の徴収を口座振替で行っており、保護者・事務負担の軽減を図った。
・関係者の連絡、会場の確保・調整、指導者の労務管理等、主な事務処理について、長門市LINE公式アカウントを活用し、関係者と事務の負担軽減を図った。
・各種目の活動計画をGoogleスプレッドシートで作成し、変更があった場合もすぐに関係者全員が内容を共有できるようにした。

Nクラメニュー画面（長門市LINE公式アカウント内）



運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

・市が運営する地域クラブを立ち上げ、各事務処理を自治体職員で対応している。
・現在、主に市長部局の3名の職員が地域クラブの運営に携わっているが、所属課の他の職員や教育委員会、各学校と連携し、常に活動をサポートできる体制を構築している。
・指導者を複数名確保することで、怪我やトラブル時の対応力向上、監督・管理の強化、負担の分散、緊急時の対応力強化を図った。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

・地域クラブへの参加にあたり、クラブ概要や留意事項をまとめた参加者ガイドの確認をお願いするとともに、生徒同士のトラブルや事故等に関する参加同意を求めている。
・実際にトラブル・事故等が発生した際、指導者から事務局を通して、保護者に連絡を取る体制としている。
・クラブ活動中は1名の職員がメイン会場（深川中学校）で待機し、もう1名が各会場を巡回して活動状況を見守っている。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

・市内の各種目団体等への説明、随時協議を行う。
・教職員向けにNクラ参加に関する意向調査を実施する。
・指導者の質向上を図るために研修プログラム及び指導者マニュアルの作成を行う。
・指導者資格等の取得に関する支援を行う。
・教職員・市職員等が参加する場合の仕組みづくりを行う。

取組の成果

・指導者をサポートコーチを含め計117名確保。一定の指導者候補を発掘することができた。
・地域移行後も引き続き指導に携わりたい教職員の意向を確認し、希望者と参加に向けた調整を行うことができた。
・研修内容、マニュアル等が分かりやすく整理されており、現場での安心感につながったとの声が多くあった。
・市独自の支援策を設け、昨年に加え新規で指導者資格を計4名が取得。
・教職員、市職員等の人事担当部署と、兼職兼業や職専免の取り扱い等について具体的な調整を図り実施した。

今後の取組における課題

・指導者によって、経験値が大きく違う。
・指導者の確保が難しい種目があるため、指導者の確保及び専門的な知識がある指導者をサポートできる人材を確保する。
・競技団体や関係者の数が少なく、高齢化も進んでいる種目がある。
・日ごとに指導者の異なる種目があるため、練習内容の一元化、共有を図ること。

課題への対応方針

・座学による研修だけでなく、実際の指導にあたるための実技研修等を検討する。
・指導者確保、若者の参画のため、市内の各種目団体等への説明、随時協議を行う。
・LINE等のツールを活用し、練習内容等の情報共有を図る。

種目	指導者数
軟式野球	25名
バレー女子	5名
バスケ男子	16名
卓球男女	23名
陸上競技	14名
ソフテニ男女	12名
剣道	15名
柔道	7名

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

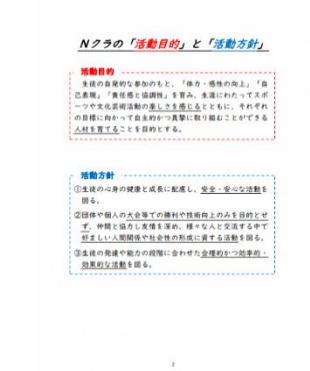
・市内の各種目団体等への説明、協議を行う。

・市内社会教育関係団体及び総合型地域スポーツ協議会との協議を行う。

指導者研修の内容

研修名	Nクラ指導者研修会
講師	Nクラ事務局
研修内容	・Nクラの「活動目的」と「活動方針」 ・グッドコーチに向けた「7つの提言」 ・Nクラ指導者（コーチ）としての心得 ・安全管理マニュアル ・怪我・病気の対応 ・物が壊れた時の対応 ・災害予測・発生時の対応　等







指導者研修受講者の声

●参加者の声

参加者①
研修を通じて、安全管理や緊急時の対応の重要性を再認識しました。指導者としての責任を持ち、子どもたちが安心して活動できる環境づくりに努めたいです。

参加者②
活動目的や方針を理解し、子どもたちの成長を促す指導を心掛けたいと思います。今後も学び続け、地域のために役立てたいです。





2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者の資格取得促進に向けた取組

・地域クラブ指導者資格等取得・更新費助成金交付要綱を昨年度制定。引き続き取得促進に取り組んだ。

助成金の種類	対象とする資格	対象経費	助成額
取得費用 更新費用	山口県中学校体育連盟等が競技ごとに定める団体登録及び各種大会への参加条件に該当する資格。 ただし、長門市地域クラブにある競技における資格に限る。	受講料、受験料、資料代及び登録料	予算の範囲内で交付対象経費の 10 分の 10 以内。 ただし、50,000 円を上限とする。
その他費用		市長が特に必要と認める経費	

指導者総数	117人
資格所持指導者数	31人
本年度資格を取得した指導者	4人

平日・休日の一貫指導に関する取組

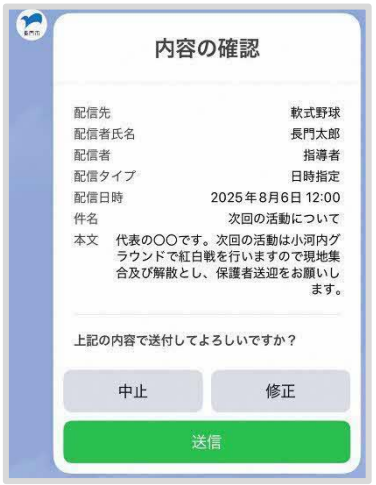
・指導者グループを組み、複数名で指導を行う体制を構築した。

・Googleスプレッドシートを活用し、その日の活動内容や指導者等の情報を関係者がいつでも確認・共有できるようにした。

・長門市LINE公式アカウントに指導者専用のメニューを作成し、関係者間で情報発信ができる体制を整備した。

●指導者メニュー画面（長門市LINE公式アカウント内）





2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・中学校長会や市PTA連合会等において本市の取組や今後の見通し等を説明する。
・既に市内で地域クラブとして活動する団体と意見交換を行う。
・市内の各種目団体等への説明、随時協議を行う。
・スクールバスや借り上げバス等を運行し、生徒の活動場所までの送迎を行う。
・参加者を乗せたバスや指導者の車を駐車するスペースが足りないため、新たな駐車スペースと生徒の乗降スペース確保する。

取組の成果

・他地域クラブとの交流を通して、合同練習の検討等、今後の連携体制を協議することができた。
・各種目団体等とのつながりから、審判員等の指導者以外に協力が必要な人材の確保ができた。
・活動前のリハーサルを通してスクールバス、借上げバスを運行し、生徒がNクラ移行後のイメージを持つことができた。また、駐車場整備により安全に駐停車できるスペースを確保することができた。

今後の取組における課題

・引き続き、地域一体となった取組の促進。
・参加者を乗せたバスや指導者の車を駐車するスペースを確保することはできたが、帰りの際は、バス、指導者、生徒と混雑するための安全対策。
・指導者、事務局の目が離れるバスの中での乗り方や態度についての指導。

課題への対応方針

・定期的な説明会を開催し、参加者や保護者に活動内容や運営状況を共有する。
・市HPやSNSを活用して最新情報や次回の予定を随時発信し、理解と協力を促す。
・バスや車両の出入り口付近や混雑しやすい場所に誘導員を配置することで、混乱を避けることができ、帰宅時の安全と効率的な誘導につなげる。
・指導者、事務局が定期的にバスに乗車し、様子を確認する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

地域公共交通との連携に関する取組

・スクールバス運行業者、所管する教育委員会と協議し、生徒の移送にスクールバスを積極的に活用した移動体制を構築した。また、運行状況は関係者間で共有し、連携を図っている。

関係団体等との連携に関するスポーツ推進委員の取組

・クラブ活動中に運営スタッフが活動を見守り、随時相談を受け付けられる、緊急時に対応できる体制を構築した。

・駐車場、バスの様子





2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

・域内の中学校に設置している全ての運動部活動を地域クラブに移行し、教職員の負担軽減を図るとともに、市内全ての生徒が共通の種目選択肢からクラブ活動を行える体制を整備する。

取組の成果

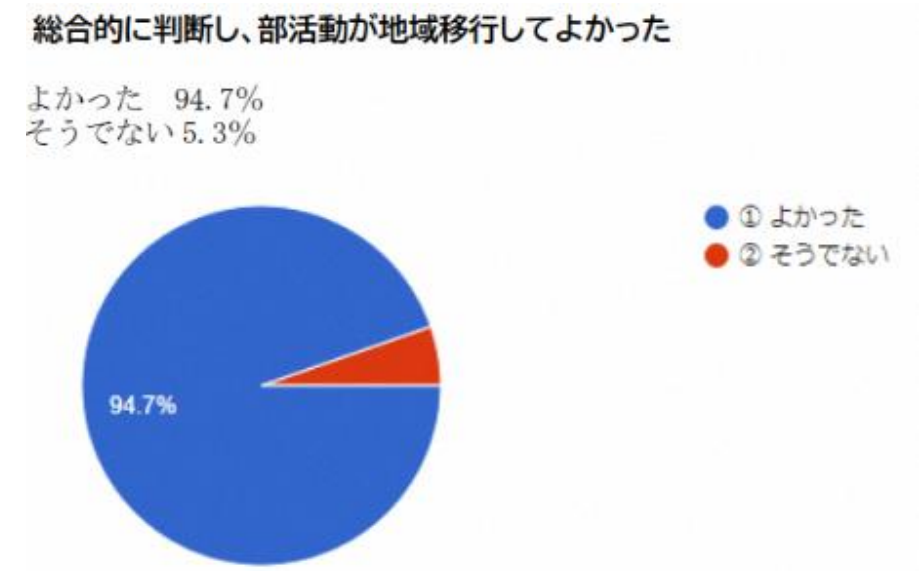
・域内の中学校に設置している運動部活動を地域クラブに移行。
・生徒の種目選択の格差を是正。
・教員の時間外業務時間の軽減。
　●教職員アンケート（一部抜粋）

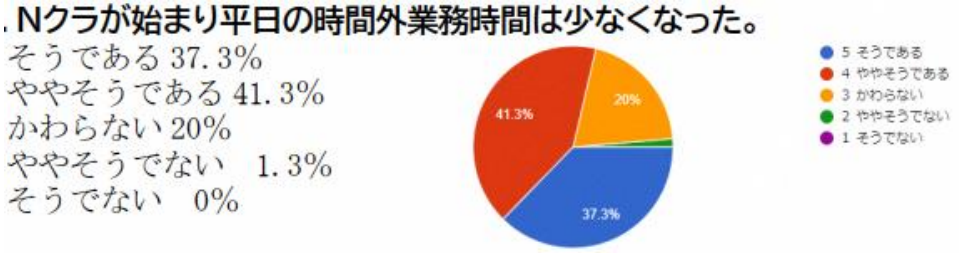
今後の取組における課題

・生徒が今後も共通の種目選択が可能となるよう各関係者と引き続き密な連携を図り、柔軟な対応ができる体制を維持する。

課題への対応方針

・定期的な情報共有を図るとともに、緊急時等の連絡体制を確認する。
・引き続き、諸課題が生じた場合に改善策を関係者で協議する。





2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

・平日休日ともに学校間をバス移動することで、市内共通の種目選択肢を確保する。また、種目変更は随時可能とし、個々の趣向にあった活動を選択できる体制とする。

・生徒の主体性を重視した活動内容を指導者から生徒に働きかける。

・参加者アンケートを実施する。

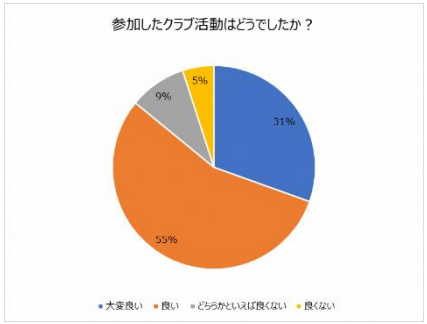
取組の成果

・これまでの部活動では、選択肢が少なかった種目に市内の全生徒が取り組めるようになった。

・生徒自身のやりたかった種目を行うことができ、また、他校の生徒ともお互い切磋琢磨しながら活動に励んでいる様子が伺えた。

・生徒の満足度は86%だった。

●生徒アンケート（活動の満足度）



●他校の生徒との活動の様子



今後の取組における課題

・4月から多くの新入生の参加が見込まれることへの対応。

・引き続き、一貫した指導ができる体制の構築。

・これまで参加していた地域行事・イベント等への参加。

課題への対応方針

・体験会の実施、新入生の参加希望を調査するとともに、できるだけ早く参加申込みの受付を開始し、柔軟な対応がとれる体制を整備しておく。

・運営スタッフが活動を見守り、随時協議をしながら、関係者との連携強化を図る。

・事前に地域行事等の主催者等に参加要望を伺い、年間スケジュールを作成しておく。

●体験会・見学会の様子





2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

・全種目共有で、参加費用負担を1人月額1,000円にし、就学援助費受給世帯を対象とした半額免除を行う。
・参加費の徴収は口座振替により行う。（3カ月に1回）
・ふるさと納税を活用し、ふるなびCFとふるさとチョイスGCFを実施する。

取組の成果

・地域クラブに移行した以降も、多くの生徒が活動に参加している。
・口座振替により、保護者と事務局の負担が軽減されている。
・ふるなびCFとふるさとチョイスGCFで、約26,000,000円の寄付を受けた。

●参加生徒の割合（令和7年8月1日時点）

参加生徒人数　※開始時点

種目	計	桜崎中	長川中	三隅中	日置中	菊海中
軟式野球	24	4	9	5	2	4
バレー女	15	0	13	2	0	0
バスケ男	29	0	21	0	2	0
吹奏楽（数）	26	4	10	10	2	0
陸上競技男女	20	1	19	0	0	0
ＳテニスＳ男女	61	15	28	9	4	5
卓球男女	52	8	27	4	11	2
剣道男女	9	3	4	0	1	1
柔道男女	8	1	3	1	3	0
美術	7	4	2	0	1	0
計	252	46	136	32	26	12

※１～２年生加入率：部活動５９％　⇒　Ｎクラ５５％
同時に新設された民間バレーボールクラブへの加入等により部活動より若干減少

●ふるさと納税CFのチラシ



今後の取組における課題

・市の財政負担が大きいため、持続可能な運営に向け、財源確保に向けた取組を検討していく必要がある。
・口座振替できなかったケースの対応。
：口座情報エラー、残高不足、依頼書の未提出等ケースごとの対応を事務局内で共有。
・安定した財源の確保。

課題への対応方針

・ふるさと納税の他、クラウドファンディング等財源確保の手法を検討する。
・口座振替が行えなかった保護者に対し、丁寧かつ適切な説明を行う。
・残高不足でのエラー件数減らすため、口座振替日の数日前に公式LINEを活用し、全体に周知を行う。
口座振替依頼書の未提出者については、文書等にて依頼書の提出を促す。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

収支バランス

令和7年度実証事業の収支

●収入

項目	費用（円）	割合
県委託料	7,900,000	59.8%
市費	4,300,434	32.5%
参加負担金費	1,019,000	7.7%
合計	13,219,434	—

●支出

項目		費用（円）	割合
地域クラブ活動費		13,219,434	100%
	諸謝金（指導者）	4,164,400	31.5%
	旅費・交通費	97,660	0.7%
	借料及び損料	136,059	1.0%
	消耗品費	1,431,290	10.8%
	印刷製本費	29,975	0.2%
	雑役務費	6,948,700	52.6%
	生徒保険料	181,600	1.4%
	指導者保険料	229,750	1.8%
合計		13,219,434	—

・持続可能な運営ができるよう適切な収支バランスを維持する必要がある。

持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

クラブ経費の全体像（見込み）

・全体予算額　54,000,000円/年

«内訳»

①指導者の謝金	13,000,000円
②バス等移動の経費	30,000,000円
③各チーム活動費	1,000,000円
④その他（事務局費等）	10,000,000円

会費収入の概算

・生徒数の約55%が参加すると仮定して年間350人を基準値とする。

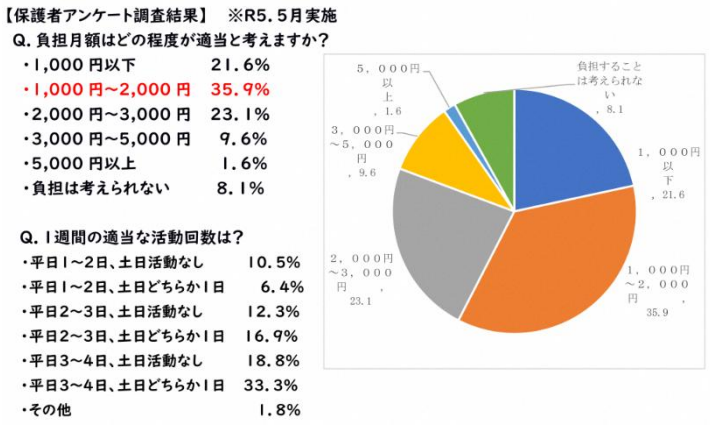
@1,000円×350人×12月＝4,200,000円

@1,500円×350人×12月＝6,300,000円

@2,000円×350人×12月＝8,400,000円

@3,000円×350人×12月＝12,600,000円

保護者アンケート調査結果



・国と県が策定したガイドラインを参考に、過去の保護者アンケート調査の結果やクラブ活動の内容と照らし合わせる等、総合的に判断した結果、1人あたり月額1,000円でスタートしたところである。

現在の会費収入の概算額と、今年度のふるさと納税額を合わせると、市費の負担は、ほぼバス等移動の経費となる。

・生徒の移動に係る経費は必須であり、市の財政負担軽減に向け、財源確保等に努める必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

・学校と教育委員会等の関係部署と協議し、施設や備品の利用に向け、優先利用やルールを調整する。

・各学校の体育館にスマートロックを導入する。

取組の成果

・大きなトラブルや事故等なく、クラブ活動を行うことができている。

・公共施設を利用することで、施設利用料がかからない。

・鍵の受け渡し等の負担がなくなった。

・長門市LINE公式アカウントから施設予約ができるようになった。

●スマートロック設置



●施設予約画面
（長門市LINE公式アカウント内）



今後の取組における課題

・大きなトラブルや事故等が発生した場合の対応。

・スマートロックが機能しない場合等、不測の事態に備えた対応。

・学校と共有している施設や備品の破損等のアクシデントが起きた場合の責任所在の明確化。

・学校利用において柔軟な対応が互いにとれるよう密に情報共有等行う。

課題への対応方針

・大きなトラブルや事故等が発生した場合の対応についてのマニュアルを整備し関係者に周知を図る。

・学校と教育委員会等の関係部署と定期的に情報交換を行い、密な連携を図り、迅速かつ適切な対応ができる体制を維持する。

・スペアキーの作成や緊急時に施設管理者と連絡がとれる体制を整備し、指導者に周知する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

・スマートロックと連携する長門市LINE公式アカウントから学校施設を予約できるシステムを構築。
・施設の利用にあたって公式LINEのみで完結するため事務の軽減。
・優先利用のため、前もって互いの年間スケジュールを関係者で共有するとともに、毎月、予定の変更を確認している。
・生徒が立ち入ってはいけない場所について学校と協議のうえ、看板等設置し施設内の利用可能範囲を区切っている。
・クラブ活動時、クラブと学校でとの利用箇所を明確に分け責任所在を明確化。

用具使用・管理等における取組

・クラブ活動後、学校関係者がいる場合は声を掛け、会場をあとにする旨を伝えたり、必要に応じて情報交換を行う。
・校舎内の警備システムの作動ポイントを地域クラブで使用する場所とそうでない場所で完全に分離した。
・施設や備品の利用に関するルールを関係者全員で調整した。
・校内で使用していない場所を再利用し、事務局の待機場所を設けるとともに、用具等の保管を行う。
・クラブで使用した用具等については、責任をもってクラブ生徒が片付けるよう徹底
・同様に指導者についても用具の片づけ等責任をもって指導を行うよう徹底。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ク：その他の取組

取組事項

・休日と合わせ、平日も地域クラブ活動に移行する予定について、更なる情報発信を行う。
・平日の移行に向け、随時関係者と協議し、課題の解決を図る。

取組の成果

・全ての部活動を休日に加え平日の部活動の地域クラブ活動を開始できた。

★市広報誌（令和7年9月号）



8/19(火)

ながとのニュース

Nクラがスタート

市内中学校の部活動が7月末で廃止され、市営地域クラブ「Nクラ」に完全移行しました。
練習初日を迎えた指導者は「各学校でチームが作れない状況だったが、この取組で生徒たちが喜んでくれることで我々は報われる。社会では、コミュニケーション能力が大切。競技を通して指導していきたい」と話しました。
なお、Nクラの実施種目は10種目で参加生徒数が252人、指導者数が123人となっています。

今後の取組における課題

・今後も継続してクラブ活動が行える体制を整備しておく必要がある。

★平日のバス乗車の様子



課題への対応方針

・引き続き、関係者との密な連携を図る。

★長門市部活動改革推進協議会の様子



2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

Nクラ設立に向けた準備を順調に進め、令和7年8月、無事に設立・運営開始することができた。8種目のスポーツクラブと1種目の美術クラブがスタート、同年12月に吹奏楽クラブの活動がスタートし、市内の全中学校部活動が地域クラブ活動へ移行した。

Nクラ設立の前月には、「全体リハーサル」と称して、実際にバス等で会場まで移動し、クラブ活動後、帰宅するまでの一連の流れを関係者全体で体感したことで、地域クラブ活動のイメージを具体的に共有でき、スムーズな地域クラブ活動への移行につなげることができた。

また、休日に加えて平日ともに部活動を地域クラブ活動へ移行でき、市内の全ての生徒が共通の選択肢のもと、クラブ活動に取り組むことができている。また、休日・平日に行うことで指導内容の一元化につなげることができた。

令和8年2月に行った「生徒・保護者アンケート」では、クラブ活動に対する満足度が80%以上であり、引き続き、諸課題を検証しながら、現在の体制を維持できるよう努める。

4月には新入生が入り、より大規模な活動になることから、今後も各関係者との密な連携を図ながら、先を見据えた事業展開を行っていく。

●成果の評価

・各関係者との協議を継続し、指導者を確保するとともに、体制を整え、市内の全種目の部活動を地域クラブ活動に移行にすることができた。

・早期に参加費用負担額を決定し、クラブ活動の詳細を随時周知したことで、部活動時とほぼ変わらない参加者数でスタートを切ることができた。

・令和8年2月に行った「生徒・保護者アンケート」では、クラブ活動に対する満足度が80%以上であり、当初の目標を達成することができた。

・令和8年2月に行った「教職員アンケート」では、約78%の教職員がクラブ活動の開始以降、平日の時間外業務時間が少なくなったと回答。教職員の負担軽減につながった。

・長門市公式LINEアカウントを活用した参加申込みや関係者との連絡体制により保護者や事務の負担軽減を図ることができた。

●今後に向けて

・来年度は、4月に新入生を迎え、本格的に3学年が参加する大規模なクラブ活動となることから、全ての生徒が、休日に加え平日も安心してクラブ活動が行えるよう、関係者からあがった諸課題の検証をし、解決を図る。

・ 引き続き、各関係者との協議やアンケートを継続し、よりよいクラブ運営・クラブ活動を実現していく。

・クラブに係る諸経費の財源確保に努める。

・地域の民間企業や近隣の自治体と連携した取組を進め、発展した地域クラブ活動を目指す。

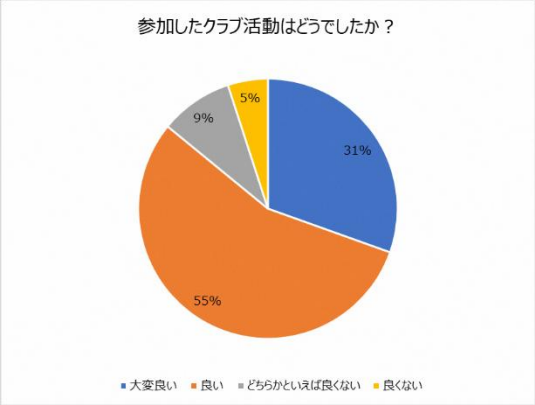
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

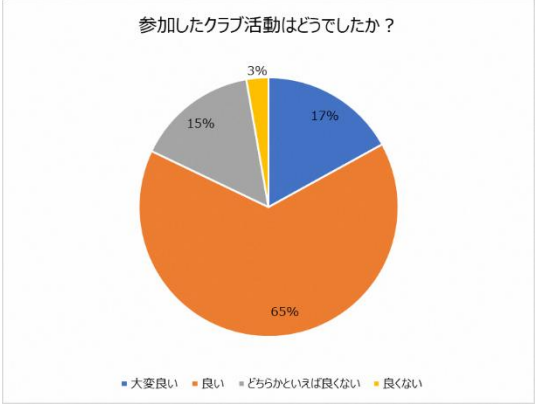
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

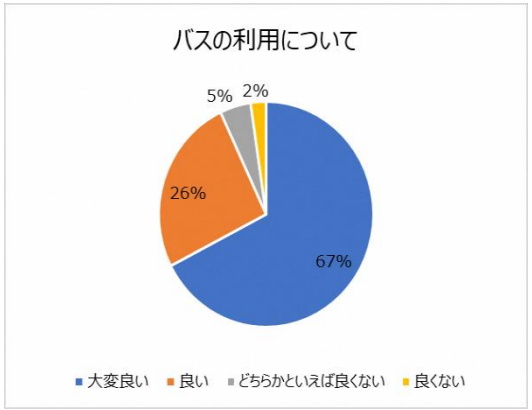
Q.（参加者）参加されたクラブ活動はいかがでしたか？



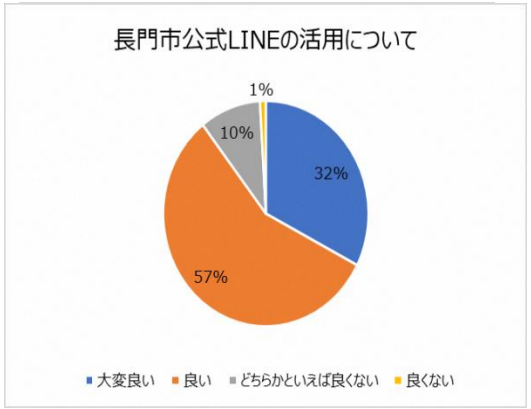
Q.（参加者の保護者）お子様が参加されたクラブ活動はいかがでしたか?



Q.（参加者）バスの利用はいかがでしたか?



Q（参加者の保護者）LINEを利用した申込み、連絡等はいかがでしたか？



●参加者/関係者の声

参加者

・選べなかった種目ができるようになって嬉しい。
・人数が増え、今までできなかった紅白戦などができた。
・他校の友達ができた。
・複数の指導者が丁寧に指導してくれて、もっと上手くなった。

参加者の保護者

・本人が上達を感じていて、楽しそうに活動しています。
・3年生も活動に参加できてありがたい。
・忙しい中、指導にあたっていただき、感謝しています。
・情報が紙でなく、LINEの一元管理で確認しやすい。

指導者

・指導経験がなく、不安もあったが、指導者間で助け合ったり、生徒自身が主体的に楽しく活動してくれていて嬉しい。
・よりよい指導ができるよう、もっと自己研鑽に励みたい。

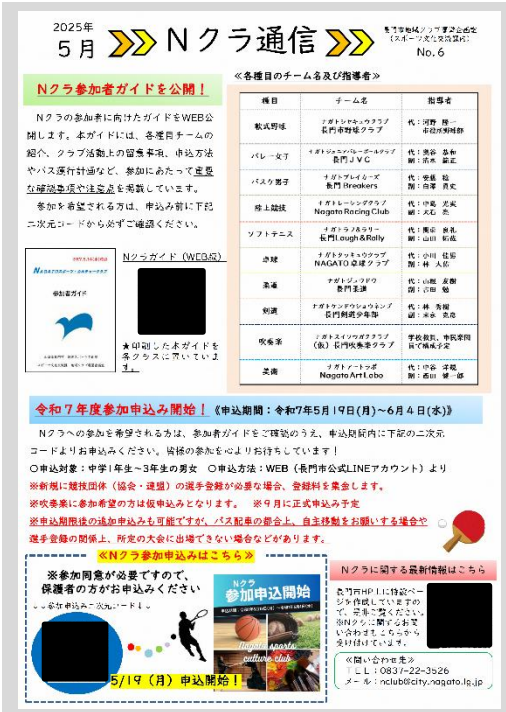
教職員

・これまであった業務の見直しの中で、もっとも効果が顕著だと思う。専門外を指導するストレスもなくなった。
・Nクラの活動がない日に業務を計画的に進められている。
・救急対応で保健室に待機する必要がなく、他業務に時間を充てられる。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



2025年 5月 Nクラ通信 No.6

Nクラ参加者ガイドを公開！

Nクラの参加者に向けたガイドをWEB公開します。本ガイドには、各運営チームの紹介、クラブ活動上の留意事項、申込方法やバス運行計画など、参加にあたって重要な確認事項や注意点を掲載しています。

参加を希望される方は、申込み前に下記二次元コードから必ずご確認ください。

Nクラガイド（WEB版）

★印刷した本ガイドを各クラスに configuration しています。

≪各種目のチーム名及び指導者≫

種目	チーム名	指導者
軟式野球	ナガトシャチュウクラブ 長門市野球クラブ	代：河野 隆一 事務局長期間
バレーボール女子	ナガトジュニアバレーボールクラブ 長門JVC	代：奥谷 昌和 副：清水 麗花
バスケ男子	ナガトブレイバーズ 長門 Breakers	代：安藤 稔 副：白澤 貴史
陸上競技	ナガトトレーニングクラブ Nagato Racing Club	代：中島 光実 副：大石 忠
ソフトテニス	ナガトラノ&ラリー 長門Laugh &Rally	代：園部 由乳 副：山田 和成
卓球	ナガトタッキュウクラブ NAGATO 卓球クラブ	代：小川 佳那 副：林 人紀
柔道	ナガトジュウドウ 長門柔道	代：小嶋 友樹 副：吉田 勉
剣道	ナガトケンドウショウネンクラブ 長門剣道少年部	代：林 秀樹 副：米永 美穂
吹奏楽	ナガトスイソウガククラブ（仮）長門吹奏楽クラブ	学校教職、市民等関係で構成予定
美術	ナガトアートラボ Nagato Art Labo	代：中谷 洋規 副：森田 健一郎

令和７年度参加申込み開始！《申込期間：令和7年5月19日(月)～6月4日(水)》

Nクラへの参加を希望される方は、参加者ガイドをご確認のうえ、申込期間内に下記の二次元コードより申込みください。皆様の参加を心よりお待ちしています！

○申込対象：中学1年生～3年生の男女　○申込方法：WEB（長門市公式LINEアカウント）より

※新規に種目団体（協会・連盟）の選手登録が必要な場合、登録料を集金します。

※吹奏楽に参加希望の方は仮申込みとなります。　※9月に正式申込み予定

※申込期間後の追加申込みも可能ですが、バス配車の都合上、自主移動をお願いする場合や選手登録の関係上、所定の大会に出場できない場合などがあります。

≪Nクラ参加申込みはこちら≫

≪参加同意が必要ですので、保護者の方がお申込みください≫

≪参加申込み二次元コード≫

5/19（月）申込開始！

Nクラに関する最新情報はこちら

長門市HPに特設ページを作成していますので、是非ご覧ください。
※Nクラに関するお問い合わせもこちらから受け付けています。

≪問い合わせ先≫
TEL：0837-22-3526
メール：nclub@city.nagato.lg.jp



2025年 6月 Nクラ通信 No.7

Nクラ参加申込み状況（6/5時点）

	柚須	深川	一般	日置	油谷	計
軟式野球	4	9	5	2	4	24
バレー女	0	9	2	0	0	11
バスケ男	6	21	0	2	0	29
吹奏楽	4	11	9	2	0	26
陸上競技	1	10	0	0	0	11
ソフトテニス	0	8	0	0	0	8
卓球	1	14	0	0	0	15
柔道	14	13	8	4	5	44
剣道	6	14	4	8	2	34
美術	2	13	0	2	0	17
剣道	3	1	0	0	1	5
剣道	0	3	0	1	0	4
柔道	0	2	1	1	0	4
柔道	1	1	0	2	0	4
美術	4	4	2	3	0	13
計	46	133	31	27	12	249

≪最終確認≫Nクラ全体リハーサル【7/6（日）・13（日）】

Nクラに向けた"最終確認"として、関係者一同が会場まで移動し、各種目チーム（吹奏楽を除く）で活動後、帰宅するまでの一連の流れを実際に体験し、Nクラのイメージを共有するとともに、具体的な諸課題の改善を図ることを目的とした「Nクラ全体リハーサル（※参加費無料）」を実施します。大変お手数ですが、Nクラに申込まれた生徒で、当日欠席される場合は、本番同様に長門市LINE公式アカウントを活用した連絡にご協力をお願いします。

※土曜日にNクラで行う内容に沿って実施します（活動時間に9:00～11:30、会場は深川中学校など）

※雨天によりリハーサルが1回のみの場合等があります。その場合は別LINEから皆様にお知らせします。

○対象者

①6/5（木）までにNクラに申込まれた生徒
⇒申込み不要
※自由参加ですが、欠席の場合は事務局に連絡をお願いします。

②Nクラに参加するか迷っている生徒
⇒右の2次元コードからお申込みください
※予めNクラに参加する意思がない方はご遠慮ください。

↓↓対象者②の方の申込先はこちら↓↓
対象者①の方も申込み後に

★Nクラガイドの確認をお願いします★
参加にあたっての留意事項やNクラ活動時の動き等を記載しています。全体リハーサル前に再度ご覧いただきますようお願いいたします。

↓Nクラガイド↓

Nクラに関する最新情報はこちら

長門市HPに特設ページを作成していますので、是非ご覧ください。
※Nクラに関するお問い合わせもこちらから受け付けています。

≪問い合わせ先≫
TEL：0837-22-3526
メール：nclub@city.nagato.lg.jp



2025年 10月 Nクラ通信 No.8

Nクラがスタート！初の公式大会に挑む！

長門市では、8月から市内の学校部活動を廃止し、市が認定する地域クラブ（Nクラ）へ移行しました。※吹奏楽部は12月から移行予定

8月19日（火）に初回活動を迎え、夏休み期間の活動を経て、9月からは放課後の活動がスタート。クラブとしての第一歩を踏み出しました。また多くのスポーツ系クラブは、Nクラ移行後初の公式大会となる「市（広域）新人大会」に出場。最初は緊張した様子もありましたが、これまでの練習の成果を発揮した数々の好プレーに応援や指導者と喜びを分かち合う姿が見られました。

※大会結果は市HP内「長門市中学校体育連盟」で公開中

※保護者の皆様には、送迎のご協力、応援等大変ありがとうございました。

吹奏楽クラブの入会申込みについて

12月から活動情報を予定している吹奏楽クラブの指導者等が決まりましたので、「クラブ紹介（吹奏楽）」からご覧ください。また、入会申込方法は次のとおりです。

★吹奏楽クラブ入会申込方法★

①6/5までに申込まれた生徒
⇒Nクラ事務局から「LINE」で改めて入会の意思確認を行いますので、ご回答をお願いします。　※10/17（金）頃予定

②新たに申込む生徒
⇒右の2次元コードからお申込みください　期限：9/30（火）まで
※現在、6/5までに申込まれた生徒数をもとにバスを配車していますので、追加人数によっては、自主移動をお願いする場合などがあります。予めご了承ください。

★平日の活動時間を短縮します★
10月に入り、夏を迎うごとに日暮れが早くなっています。現在、平日のクラブ活動時間を短縮しているところですが、深川中学校での活動を終えて各中学校に戻る時には、活動終了時はりさらに暗くなっていますので、ご家庭で今一度、熱中症予防や時間等について話し合いのうえ、安全な帰宅ができるようご協力をお願いいたします。
※2月末頃まで平日の活動時間の短縮を予定しています。

クラブ活動 新人大会 活動の様子

クラブ紹介（吹奏楽）

新規申込み

Nクラに関する最新情報はこちら

長門市HPに特設ページを作成していますので、是非ご覧ください。
※Nクラに関するお問い合わせもこちらから受け付けています。

≪問い合わせ先≫
TEL：0837-22-3526
メール：nclub@city.nagato.lg.jp



2025年 12月 Nクラ通信 No.9

吹奏楽クラブ(Brass Wind 長門）の活動がスタートしました！

12月から吹奏楽部がNクラに移行し、2E（火）に初回の活動を迎えました。当日は、本挑と指導者がそれぞれ自己紹介した後、これからの活動内容等を話し合いました。新しい環境やメンバーに緊張した様子も見られましたが、これからの活動を通じて互いの絆が深まり、全員でハーモニーを楽しみながら、多くの方の心に響く演奏をお届けします。

Nクラ体験会(種目別）を実施しています！

11/22（土）から、小学6年生を対象とした「Nクラ体験会（種目別）」を実施しています。初日は、硬式野球とバレーボール女子に見学が参加し、実際のクラブ活動を体験しました。現在、一斉募集を締め切ったところですが、吹奏楽をはじめ、体験会の追加実施を各指導チームと調整していますので、詳細が決まり次第、お知らせします。多くのご参加をお待ちしています。

【重要】来年度の新規申込みについて

2/2（月）から2/27（金）まで来年度の新規申込みの受付を予定しています。事前に参加者ガイドをご確認のうえ、申込期間内に長門市LINE公式アカウントからお申込みください。※詳細は後日お知らせします。

★注意事項★
①申込期間後の追加申込みも可能ですが、バス配車の都合上、自主移動をお願いする場合などがありますので、予めご了承ください。
②地区団体で活動しながらNクラに加入する場合、選手登録の規定（クラブ2重登録の禁止等）やチーム運営の観点を踏く観点から、選択・加入できる種目を制限する場合があります。※詳細はNクラ通信(No.6)又は参加者ガイド参照（NクラHPに掲載しています）

★各種調査にご協力をお願いします★
クラブの参加者や指導者等を対象とした「Nクラ関係者アンケート」と小学6年生を対象とした「Nクラ加入意向調査」を2月に実施しますので、ご協力をお願いします。

【祝】県新人大会で上位入賞！

10月11～12日に開催された山口県新人大会において、卓球男子団体が準優勝、柔道男女が階級別の個人戦で優勝1名、準優勝4名、3位1名の上位入賞を果たしました。

選手の皆さん、本当におめでとうございます。

おめでとうございます

○卓球男子団体メンバー　○柔道男女上位入賞者

Nクラに関する最新情報はこちら

長門市HPに特設ページを開設していますので、是非ご覧ください。
※Nクラに関するお問い合わせもこちらから受け付けています。

≪問い合わせ先≫
TEL：0837-22-3526
メール：nclub@city.nagato.lg.jp

【昨年度に続き、Nクラ通信を発行し、本市の取組等を広くお知らせしています】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料

長門市野球クラブ

～「楽しく」をモットーに、野球というチームスポーツを通じて人としての成長を促す活動を目指します ～







【 練習内容 】

【打撃練習】
・ティーバッティング
・トスバッティング

【守備練習】
・キャッチボール
・シートノック

【試合形式】
・紅白戦等

<クラブ員数>
男子　２１名
女子　　３名　計２４名
<活動場所>
深川中学校



長門JVC（ジュニアバレーボールクラブ）

～ バレーボールを通して、技術の習得だけでなく、挨拶や礼儀を養います。そして、バレーボールはカバーリングのスポーツなので、仲間に対する信頼関係の構築を大切にします ～







【 練習内容 】

【基本練習】
・トス ・レシーブ ・スパイク ・ブロック ・サーブ
・シート練習 ・ディグ練習 ・レセプション練習等

<クラブ員数>
女子　１６名　計１６名
<活動場所>
深川中学校



長門Breakers（ブレイカーズ）

～「当たり前を積み重ねると特別になる」を基本方針として、バスケットボールを通じて、人間性を豊かにする活動を目指します。「時を守り、場を清め、礼を正す」を心がけ、一生懸命練習に取り組みます ～







【 練習内容 】
・ハンドリング　・ドリブル
・ディフェンスフットワーク
・フリースロー　・オフェンスパターン　・三角パス
・3対2ラリー　　・５対５　等

<クラブ員数>
男子　２９名　計２９名
<活動場所>
深川中学校



Nagato Racing Club（長門RC）

～「みんなから応援される陸上競技クラブ」を基本方針として、競技を通じて生徒の人間性を豊かにする活動を目指します。走練習を基本に選手に応じた種目別の練習を行います ～







【 練習内容 】

【短距離】
・スプリントドリル
・坂ダッシュ
・スタート練習　等

【長距離】
・インターバル
・ジョグ
・タイムトライアル　等

<クラブ員数>
男子　１２名
女子　　８名　計２０名
<活動場所>
深川中学校



2.実証内容と成果⑤

スポーツ庁

参考資料

長門Laugh&Rally（長門LR）

～ ソフトテニスを楽しんでもらうことを第1目標に体力だけでなく、協調性、思考力、精神力など、様々な力を育むことを目標に活動します ～





【練習内容】
・素振り　・サーブ・レシーブ練習　・ローボレー
・ボレー練習　・ストローク練習　・乱打
・ショートゲーム　等




<クラブ員数>
男子　14名
女子　46名　計60名
<活動場所>
深川中学校・仙崎中学校



NAGATO 卓球クラブ（N卓）

～ 卓球を通し、技術や体力の向上を図るとともに、自主性・協調性・責任感等を学べる活動を目指します。仲間と共に汗を流しながら、笑顔し、それぞれの目標に向かって、心身の成長を図っていきます ～





【練習内容】
・フォア打ち　・バック打ち　・多球練習
・サーブ練習　・試合形式練習　等




<クラブ員数>
男子　34名
女子　18名　計52名
<活動場所>
仙崎・深川・三隅・日置・菱海中学校



長門剣道少年部

～ 技術の習得だけでなく、礼節・誠実・思いやりの心を育むことを目的とします。日々の稽古で自らと向き合い、仲間と心身を鍛え、大会や昇級・昇段審査に挑戦します ～





【練習内容】
・素振り　・足捌き　・面、小手面、胴打ち
・日本剣道形　・試合稽古　等




<クラブ員数>
男子　5名
女子　4名　計9名
<活動場所>
長門市武道館



長門 柔道

～ 日々の稽古の中で、柔道の精神である「精力善用・自他共栄」を学び、そして実践することを基本方針として活動します ～





【練習内容】
・補強運動　・寝技打込　・寝技乱取
・立技打込・引出し・追込み　等




<クラブ員数>
男子　4名
女子　4名　計8名
<活動場所>
深川中学校



2.実証内容と成果⑥

スポーツ庁

参考資料



特集 02

Nクラ
～市営地域クラブ～
8月から
スタート！

詳細情報はコチラ

問 スポーツ文化交流課内
地域クラブ運営企画室 ☎22－3526

市営地域クラブ「NAGATO スポーツ・カルチャークラブ」（Nクラ）

長門市では、8月から中学校部活動を廃止し、市営地域クラブ「NAGATO スポーツ・カルチャークラブ（Nクラ）」を設置します。※吹奏楽は12月から

Nクラでは、10種類の種目チームを設置し、深川中学校を中心に学校間をバス移動して活動を行います。これにより、本市の中学生は、市内共通の種目選択肢のもとスポーツ・文化芸術活動に親しむことができるようになります。

各種目の指導は、地域住民（学校教員や市職員を中心としたグループ）が行います。長門市の子供たちの健やかな成長のために、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

■活動日程
平日（火・木）16：45～17：45
休日（土）　9：00～11：30
■参加金
月額1,000円

種目・チーム編成・バス移動計画図

各種目チーム

種目	チーム名	会場	参加生徒数	指導者数
軟式野球	長門市野球クラブ	深川中グラウンド	24	16
バレー女	長門JVC	深川中体育館	11	5
バスケ男	長門Breakers	深川中体育館	29	16
陸上競技男女	Nagato Racing Club	深川中グラウンド	19	13
ソフトテニス男女	長門 Laugh & Rally	深川中・仙崎中	60	9
卓球男女	NAGATO 卓球クラブ	全5校	51	19
剣道男女	長門剣道少年部	長門武道館	9	12
柔道男女	長門柔道	深川中体育館	8	7
美術	Nagato art labo	深川中	9	4
吹奏楽	未定	深川中	27	未定

2025.8.1 6

【市広報誌（令和7年8月号）】

学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出

✓令和７年８月、山口県長門市はスポーツや文化芸術活動に親しむことができる市営地域クラブ「ＮＡＧＡＴＯスポーツ・カルチャークラブ（通称Ｎクラ）」を設立。**５つの中学校の生徒が平日・休日ともに地域クラブ活動へ参加。**

●市営地域クラブ活動「Nクラ」の概要

◆ 活動時間
平日週２日（火、木）16時15分～（60～90分）
休日週１日（土）　9時00分～（150分）
★オフ（活動中止）期間あり
夏：8/1～8/16　冬：12/27～1/5
春：3/30～4/3、5/3～5/5

◆ 移動手段
平日と休日ともに各中学校間のバス往復運行を実施

◆ 実施種目
学校間移動により市内共通の種目選択肢を確保



●「Nクラ」の指導体制

◆ 指導者区分
①コーチ　…　専門的な知識や経験、資格等を有する方
②サポートコーチ　…　指導補助や安全管理等を行う方

◆ 指導者属性　市役所職員や兼業教員、一般住民が連携して指導

出典：長門市作成資料に基づきスポーツ庁作成。※図表の出典：長門市クラウドファンディング型ふるさと納税サイト（https://www.furusato-tax.jp/gcf/4373?key=ae358702a520beef104e9bdaf7b813f8d0281ccb）

17

【全国の事例として紹介いただきました（スポーツ庁資料）】

2.実証内容と成果⑦

スポーツ庁

参考資料













【クラブ活動の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年	令和5年	令和6年			令和7年
・アンケート調査1 ・協議会の設置	・アンケート調査2 ・協議会での検討	・10月に「素案」を策定 ・実現に向けた課題の検討	・市長部局に「準備室」を設置 ・関係者との協議	・クラブ活動の一部試行 ・体制の再整備	・Nクラの設立、運営開始

●ステークホルダー

生徒、保護者、学校、スポーツ協会、教育委員会

●経過

生徒と教職員に対して地域移行に関するアンケート調査を実施し、その結果をもとに、設置した協議会において部活動改革を具体的に検討していくこととした。

●実施にあたって生じた課題

指導等に携わる人材が確保できるか、適切な活動日数はどのくらいか、子どもたちが学校から別会場に移動してまで活動したいか等、地域の実情と関係者のニーズにあったかたちを検討する必要がある。

●ステークホルダー

児童、生徒、保護者、学校、スポーツ協会、教育委員会

●経過

児童と児童・生徒の保護者に地域移行に関するアンケート調査を実施し、前年の結果と合わせて協議会で検討を進め、10月にNクラの設立を目指す「素案」を策定し本市の方向性を定めた。

●実施にあたって生じた課題

全ての関係者が素案について共通認識を持ち、実現に向けた諸課題を地域で進めていく必要がある。

●実施内容、工夫した点　等

各中学校入学説明会で本件を直接説明するとともに市広報やHP等で公表し広く意見を求めた。

●ステークホルダー

児童、生徒、保護者、学校、スポーツ協会、各スポーツ団体、教育委員会、市長部局

●経過

教育委員会部局から移管し市長部局に「準備室」を設置。各関係者等と具体的な協議を進め、クラブ活動の一部を試行した。また指導者の確保に向けた取組を進めた。

●実施にあたって生じた課題

児童生徒の意向や各関係者との協議から素案で示した内容を見直す必要が生じた。

●実施内容、工夫した点　等

必要に応じてアンケート調査の実施や関係者と協議し、より具体的な体制案をまとめた。

令和7年8月にNクラを設立し、休日・平日含めた地域クラブへ完全移行。

完全移行後も、関係者へのアンケートや協議を継続し、持続可能な運営、効率的なクラブ活動に向けた諸課題を検証する。

3.今後の方向性

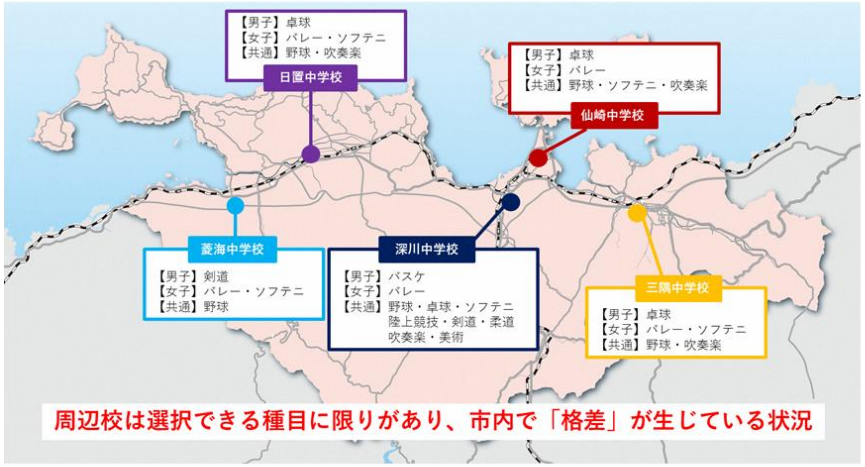
スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

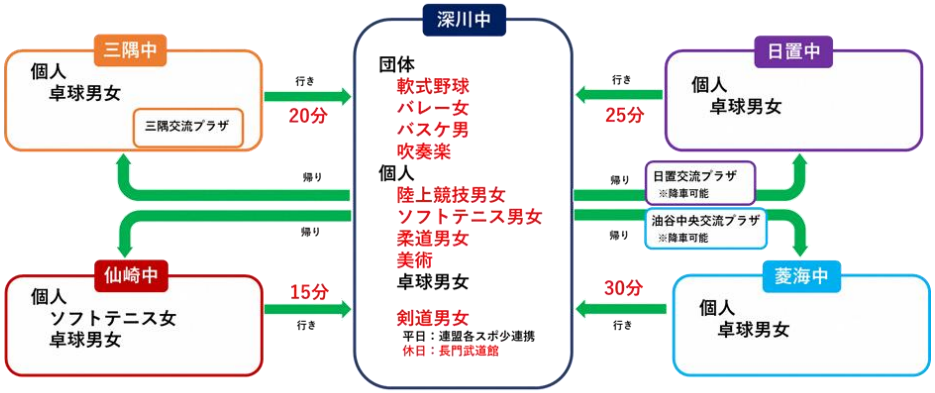
令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
8月：Nクラ設立、運営開始 部活動廃止しNクラに移行 ※吹奏楽部を除く 12月：吹奏楽部もNクラに移行	・本格的に３学年で始動 ・クラブ運営の継続	・クラブ運営の継続

★関係者アンケートや各種協議を通じて課題を検証★

市内中学校部活動の現状



Nクラ種目・チーム編成等の概要図



※チーム：中体連、クラブ：吹奏楽連盟に登録する単位
※卓球、ソフトテニスは、全体で男女１チーム登録
※学校間往復移動：市スクールバス、業者借上げバス等
※交流プラザ（現公民館）で降車、待機可

全ての生徒が共通の種目選択肢からスポーツ文化芸術活動に親しむことができる